

## チェコ モラビア・フレスコ州 ノビー・イーチン高校 友高 さん

留学期間：H29.9～H30.6（1年間）

私はチェコのOstravaという都市に近い小さな村で、チェコ人のホストペアレンツとタイからの留学生、4人で暮らしています。

現地の高校に通いながら驚きと発見の毎日を送っています。今日はとくに衝撃を受けたチェコの授業と、文化の違いを感じたクリスマスについて紹介したいと思います。

私は留学する前、「日本の学生は世界からみてよく勉強する」という思い込みを抱いていました。実際授業の進み具合は遅く、学校は午後2時ごろには終わります。また宿題はほとんどありません。チェコに来た当初、沢山「勉強」していた日本人の私にとって、「勉強をしない」という環境に不安を感じていました。私がここで言う「勉強」とは机に向かい暗記する事です。しかし私はチェコの学生と触れ合い、「勉強」が全てではない、「勉強」をしたからと言って教養が身につくわけではない事を実感しました。チェコの学生は沢山ある放課後の時間を使い、外国語を学んだり本を読んだりして知識を深めています。私もこの時間をどう活用しようか考え、日本にいたら疑問に思わなかった事、曖昧にしていたであろう物事に意欲的に取り組んでいます。



ノビー・イーチン高校



留学生の仲間たちと



化学の授業でプレゼンする生徒

またチェコの授業では、学生に知識をアウトプットする機会が沢山与えられています。成績に反映される小テストは記述式と先生と一対一の口頭です。生徒が授業で学ぶ事柄を各自パワーポイントでまとめ、先生の代わりに授業を行うことも多々あります。日本の高校に通っていた頃は、スピーチをする機会がなかったので、堂々と発言する友達に圧倒させられました。いくらインプットしてもアウトプットしなければ意味がない事を身をもって実感し、もっと「話す事」を重視しなければいけないと思いました。



クリスマス 同居するタイの留学生と

文化の面では日本と違うクリスマスがとても新鮮でした。24日は肉類を食べてはいけないので、ディナーは鯉のフライとポテトサラダです。鯉は生きたまま売られており、クリスマスまで家の浴槽で飼う家庭もあります。皿は家族+1人分用意をします。この「+1人」とは旅人やホームレスの分で、来訪した場合快く受け入れるのがマナーです。チェコではクリスマスケーキの代わりにクッキーを食べます。ジャムなどを使った素朴なクッキーです。そしてサンタクロースはいません。かわりに ježíšek（イエジーシェック）がプレゼントをくれます。これはビロード革命以前、共産主義時代に国民が細やかにクリスマスを祝ったことに由来します。また鉛やリンゴを使った占いもします。どれも初めての体験で、とても良い経験になりました。



クラスメイトと

チェコに来て、自分とは異なる文化・環境で育った世界中の人々と触れ合っています。留学を通して教養を身につけ、自分を高める事が私の課題です。

残りの6ヶ月でもっと沢山の「初めて」に出合えるよう意欲的に生活していきたいと思っています。